



「小児の誤飲に要注意！」



乳幼児～小児の誤飲事故は年に数百件も報告されています。受診していない分を含めると、かなりの件数のぼります。特に多く健康被害も危惧されるのは「タバコ」と「医薬品」で、これだけで事故の半数を占めています。

タバコは「わずか1本」が子どもの命にかかります。水に浸っていたタバコやその汁では、致死毒となるニコチンが吸収されやすくなるため、危険性がもっと増します。タバコや灰皿の管理はもちろん、間違っても空き缶やペットボトルを灰皿代わりにしないようにしましょう（少なくとも成長期の子どもの前で喫煙そのものがマナー違反ですが）。医薬品の用法・用量は体の大きさがかかりますので、子どもにとっての1粒は、大人にとっての過量摂取に相当します。

そして、特に健康被害が怖いのは「ボタン電池」です。もし食道にとどまった場合、数分単位で粘膜を破壊し、最終的には穴をあけ命にも関わります。科学的には、主成分のマンガンや酸化銀、そして発電の元となるアルカリ成分が毒となります。飲んだ恐れが少しもあるなら、速やかな受診が必要です。吐かせ方には背部叩打法やハイムリック法がありますが、コツがありますので、子どもがいるなら赤十字社のサイトなどで練習しておきましょう。赤十字社は年に数回、講習を開いています。ハイムリック法は内臓損傷の恐れがあるため練習は形だけにしましょう。

科学グループ 熊本隆之（薬剤師／博士[薬学]）

各グループから
ホットな話題を
毎号シリーズで
お届けします！

そら 宙レター

宇宙マイクロ波背景放射（CMB）は、宇宙誕生38万年后に放射された光が、現在マイクロ波として観測されるもので、その発見はビッグバン宇宙論を確立する証拠となりました。

2013年3月、2009年に打ち上げられた欧州宇宙機関のCMB観測衛星、プランクによる観測結果の中間報告が発表されました。それによると、宇宙年齢は1年延びて138億歳、宇宙の物質やエネルギーの割合は、物質4.9%、ダーカマター26.8%、ダーカエネルギー68.3%と、従来の結果に若干の修正がなされました。プランクの正式な観測結果は、2014年に発表される予定だそうです。観測技術の進歩には驚くばかりですが、新たな発見を期待して、正式結果の発表を待ちたいと思います。

天文グループ 田中鐵五郎

よもやま 四方山雜記

皆さんは新幹線で一番長い編成って考えたことがありますか？一番長い編成といえば、N700系（のぞみ）や700系（ひかり・こだま）などの16両編成ですが、実は一番長い編成はE5系+E6系（はやぶさ・こまち）と、E2系+E3系（やまびこ・つばさ）の17両編成なんです。これは二つの編成を連結させた長さで、E5系とE2系はそれぞれ10両編成、E6系とE3系はそれぞれ7両編成のため、このように17両編成になったといいます。

過去にも200系（10両）+400系（7両）の運転もありました。ただし、E6系やE3系はミニ新幹線であり、1両の長さが他の新幹線よりも短いため、長さとしては16両編成のN700系や700系の方が上なんですね。

ちなみに一番短い編成は、かつては0系と100系の4両編成でしたが、現在は800系の6両編成が短いです。

案内グループ 古田高廣

S.P.V活動情報 ~9月

案 内

“昔懐かし”紙芝居（約15分）

● 随時実演 ☆展望ロビー（北）

ジオラマショー案内（約20分）

◇11:00～、15:00～、17:00～ ☆展望ロビー（東）

科 学

かんたん科学工作ほか

● 土日祝 10:00～15:30

☆21階展示ゾーン入館者対象

天 文

駅前観望会

● 7/5(土) 19:30～20:30

● 8/2(土) 19:00～20:00

出張活動

郡山わくわくフェスタ

● 7/5(土) ☆なかまち夢通り

観望会

● 8/9(土)・9/6(土) ☆須賀川市内

★『S.P.Vつうしん』発行予定 第42号9月下旬★

★S.P.Vの楽しくてタイムリーなボランティア活動情報を
HPでお知らせしています

HPアドレス <http://www.space-park.jp>

募集や活動等についてのお問合せは……郡山市ふれあい科学館 TEL024(936)0201まで

編集
あとがき

(山) 今年度もS.P.Vの魅力をたっぷり詰め込んだつうしん目指して頑張ります！
(古) 山形新幹線の新塗装が登場しました。でも今の塗装の方が良かった…。
(星) 365日快晴のプラネタリウムは最高の癒やしスポット！みんなでGO!!
(菅) 新緑の季節。シティマラソン10Kも完走でき心身ともに爽快です！

S.P.Vつうしん

第41号 2014 JUNE

発行／スペースパークボランティアの会 広報部会

〒963-8002 福島県郡山市駅前2-11-1 TEL 024-936-0201 FAX 024-936-0089

「ボランティアまつり開催！」

開催期間

2014年 3月15(土)～16日(日)



3月15・16日の2日間、ふれあい科学館22階の展望ロビーを会場にボランティアまつりが開催されました。これは、科学館で活動しているボランティアが、その1年の活動の集大成として、各グループの特色を活かした出展物を通じて来場者の方々にお楽しみ頂くイベントです。

今年は、案内グループが昔遊びや囲碁の体験コーナーを、科学グループが工作・折り紙コーナーを、天文グループがメンバーの才能を活かした様々なコーナーを設置しました。

ボランティアが、来場者の皆さんと共に楽しみ一緒につくり上げるボランティアまつり。今回も、春先の楽しい思い出となつたようです。（科学グループ／山田善貴）

天文グループ

3月になると寒さも和らぐ時期ですが、今年も例年通りボランティアまつりが開催される日は和らぐどころか太陽が狂ったかのような暑さでした。

今年の天ボラチームは、昨年の‘もうひとつの才能！’を超える出し物を考えました。

新たな企画として、「シールペンダントコーナー」を開設しました。好きなイラストを台紙に書き、それを透明アクリルで熱封印することでオリジナルなペンダントやアクセサリーなどが作れるため、これは大盛況となりました。

天ボラ得意の製作物「惑星探査いらいら棒」がリニューアル復活の登場となりました。何度もいらいらするのですが、めげずにクリアした人には天ボラチームの撮った特製の天体写真がプレゼントされました。

「似顔絵コーナー」これは昨年よりもさらに腕を上げた天ボライラストレーターが、モデルの特徴も考えて、繊細なタッチにより絶妙な仕上がりでこれは皆さん大満足。時間に係なく長蛇の列となり、さらに某テレビ局も参入して大混乱？の盛況となりました。

また、話題の隕石の展示説明「隕石鑑定団」、さらに出張活動での曇りメニューでおなじみの「星座早見盤作成」などなど。そして、毎年恒例になった「記念写真コーナー」。パソコンとカメラを接続させ、撮ってすぐに印刷して持ち帰ることができ、大いに盛り上りました。

次回も天ボラチームが持っている‘さらにもうひとつの才能！プラスα’を探し出し、大いに楽しみたいと考えています。（天文グループ／田辺信作）

スペースパークボランティア募集！

※無償参加可能な方。他応募条件有り。
詳しくはお問い合わせください。

郡山市ふれあい科学館スペースパークでは生涯学習ボランティアを募集しています。現在、当館では幅広い年代層のボランティアの方々が活躍しています。私たちと一緒に楽しんでみませんか。興味がある方は、お気軽にお問い合わせください。

問合せ先：郡山市ふれあい科学館 管理課

TEL 024-936-0201

ハフソティア♪まつり ★コーナーレポート

科学グループ

科学館22階展望ロビーでの恒例となっている活動で、今回の内容は“ミウラ折り”的展示と工作、それにトトロの折り紙&顔入れでした。

“ミウラ折り”というのは、パッとわかりやすい内容というよりはどちらかと言うと難しい内容であったかと思いますが、「みんなのアイデアで少しでもわかりやすく！」をモットーに、人工衛星の太陽光パネルの話をしたり市販されているミウラ折りの地図を見てもらったり、また、焼酎の缶に使われているダイヤ折りを使っての説明を交えたりしながら、日頃にしていないけど、そこに隠されている科学の工夫を少しでも感じてもらえたという内容でまとめることができました。

この土日は、市内各地での他のイベントと重なったこともあり、子どもを中心にもう場者が分散したようでしたが、お話を聞いてくれた方、工作をされた方、折り紙を折った方からは、本当に笑顔とともに喜びの言葉をたくさんいただきました。私たちボランティアも次の活動への意欲がわきました。

科学グループ出展秘話！?



科学グループでは、年度末のこのイベントを機に大勢のボランティアで協力して展示用の大型工作を一つ創り上げるというのが恒例となっています。

今回も前々からテーマの検討が行われ、“ミウラ折り”なるものにスポットを当てることに。その作製・折り畳みを来場者に挑戦して頂くため、一つ大きな物を作ろうということになりました。また、関連して、1枚の紙からの立体造形にもチャレンジ！ハサミやのりを使わず、山折り谷折りだけで家の模型を作り上げます。

勉強会を通じ各自で実際に折ってみると、難解な折り方に誰しも悪戦苦闘…。展示用の大型となると、大人6～7人がかりでの大作業になりました。しかし、苦労しただけに完成時の喜びはひとしおで、家の内側にはボランティアたちのサインが残されたのです。

(科学グループ／山田善貴)



サイエンスフェスティバル活動報告

2014年
5月5日(月・祝)



ゴールデンウィークと夏休みという心浮き立つ2つの期間、スペースパークでは『サイエンスフェスティバル』という科学のお祭りが開催されます！今回も日替わりで様々な団体が出展し、お祭りの屋台を楽しむように来館者は科学を楽しみました。

科学グループ、今年の出し物は、こいのぼり作り！持っているだけでワクワクしてくるような大人気工作です。はさみでジョキジョキ、テープでクルッと丸め、竿に取り付けたらハイツ出来上がり！鯉の順番はどうするの？兄弟いるから子鯉もっと欲しい！元気な声が飛び交います。

家族と一緒に空を泳げるこいのぼり作りを通して、家族を想う子ども達の優しい気持ちにたくさん出逢うことが出来ました。

(科学グループ／山田善貴)



開成山こどもまつり活動報告

5月5日こどもまつりに、S.P.V科学グループは開成山野球場会議室でわくわく科学工作と題し、9名の高校生ボランティアとともに、スライム作りを行いました。今年は例年になく肌寒く曇り模様で出足が悪くなるのではないかと心配しましたが、大勢の家族連れで賑わっていました。

「スライムって何？」「どうやって作るの？」興味津々で取り組む子供や、「知ってる」「前にやった事があり楽しかったからまたやってみたい」と言う子供もいて、スタッフが笑顔で対応しました。材料を加え揉んでいくと液体からゼリー状になっていく過程を指の感覚で感じて頂き、感動している子ども達を見てスタッフ一同つい笑顔がこぼれてしましました。

午後になり来客数が減ってしまったので見本を片手に外へ出て呼び込みをしたところ、声を掛けたほとんどの人が「やってみたい」と言って来場して頂け今年も盛況に終わりました。

(科学グループ／五島邦夫・ナヲ子)



園児向け観望会★活動報告

2014年 3月7日(金)

さる3月7日、富田幼稚園での観望会に参加してきました。参加人数は園児さんとそのご家族の合計130人。

いつもの『星の宅配便』で接するのはだいたい小学生ですが、今回はさらに低年齢の幼稚園児。いつもより安全に配慮しなければと思いながら、参加者の方々をお迎えしました。

天体望遠鏡で月を見た園児さんは、その大きさと明るさに驚き、喜んでくれました。観望前の座学で説明があったクレーターも確認しました。他の望遠鏡で木星を見たり、恒星や星座の説明を聞いたりするなど、様々に楽しんでいただけたと思います。

園児さんの観望会での様子は小学生と変わりません。順番を静かに待ち、こちらの安全に対する注意がいつも以上に必要ということはありませんでした。きれいな言葉を使う園児さんも多く、星の宅配便や駅前観望会とは違った、少しうつりとした、思い出すと口元がゆるんでしまう観望会でした。

(天文グループ／伊藤智美)



「案内サービス」と「鉄道ジオラマ」が合併しました

平成25年度 第11回総会において「案内サービス」と「鉄道ジオラマ」の2グループを統合し、新生『案内』とする提案が出され承認されました。

「鉄道ジオラマ」はふれあい科学館開館の翌年平成14年から33名の国鉄経験者によって、22階の目玉の一つ《Nゲージ鉄道ジオラマ》で専門知識と経験を活用してボランティア活動を開始しました。15年度からはS.P.V体制となってその後10年経過した25年には会員が7名まで減少するに至り、活動に支障が生じる事態となったことから、同じ22階を受持つ「案内サービス」と合併することになりました。

ジオラマは大人のみならず、特に子供達の人気が高く鉄道車両など特殊知識も必要となり、いつも穏やかな態度で接している活動姿勢を案内の会員はよく見習うと共に、この機会にジオラマにある明治時代、昭和初期、現代の郡山発展を深く理解して、22階からの風景もあわせ共に学習しながら一体化を進めて行きたいと思います。

新生『案内』グループは、平成26年度22名体制でスタートしました。

(案内グループ／久野 功)

